

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信 (毎月分配型) 《第40期決算(2012年1月16日)について》

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドの第40期決算(2012年1月16日)における分配金をご連絡いたします。

35円 (1万口当たり、課税前)

※上記の分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

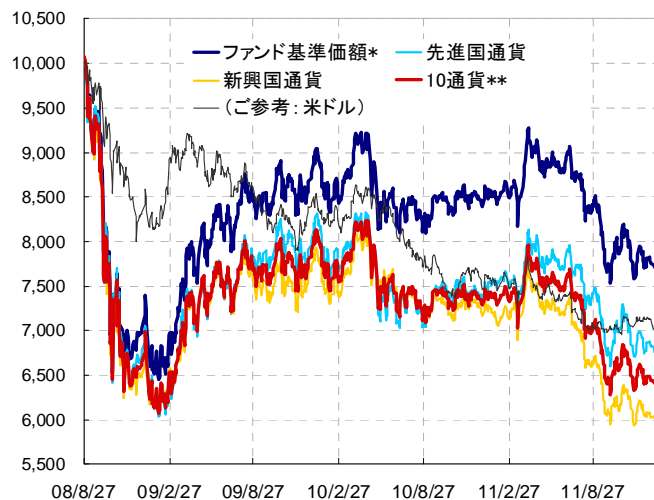
■当期の市場動向

当期の高金利通貨の値動きは、年末年始を挟んだ薄商いの中、方向感の定まりにくい展開となりました。期初はスペイン国債の入札が順調に終了したほか、特に米国において主要経済指標が市場予想より良好な結果となったこと、また、欧米主要株式市場が上昇したことから、投資家のリスク許容度が高まり、高金利通貨は対米ドルおよび対円で上昇しました。年末には、イタリア10年国債の入札で利回りが再び危険水域とされる7%に近づいたことや、年始には欧州債務危機がスペインに本格的に波及するリスクが市場で再び意識され始めたことから、ユーロが対円で11年ぶりの安値となるなど、投資家のリスク許容度が低下し、高金利通貨も対円で下落しました。結局、当期の高金利通貨は対米ドルで上昇したものの、対円では円高が進行したことから変わらずの展開となりました。

当期末(1月16日)現在、当ファンドが投資した通貨は対円で平均0.38%の上昇となりました。

尚、当ファンドで投資している10通貨において、ノルウェーが0.5%の利下げを実施しました。

【ファンド基準価額と各通貨(対円)の推移】(2008年8月27日を10,000として指数化、2012年1月16日現在)



当期の騰落率		
先進国	ノルウェー・クローネ	-2.91%
	オーストラリア・ドル	2.10%
	ニュージーランド・ドル	4.13%
	韓国ウォン	-1.04%
	ポーランド・ズロチ	-0.99%
新興国	トルコ・リラ	-0.79%
	南アフリカ・ランド	1.40%
	インドネシア・ルピア	-2.30%
	ブラジル・リアル	3.64%
	メキシコ・ペソ	0.53%
10通貨**		0.38%
ファンド基準価額*		0.58%

*ファンド基準価額は、分配金を非課税で再投資したものです。

**10通貨は当ファンド投資対象の10通貨を均等投資し、日次でリバランスしたと仮定して算出した累積リターンです。

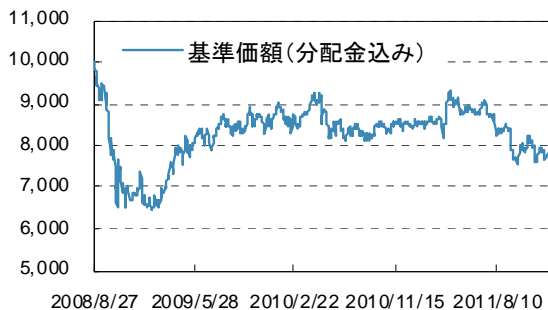
※先進国通貨、新興国通貨、10通貨の各グラフは、当ファンド投資対象の先進国5カ国、新興国5カ国の通貨を均等投資し、日次でリバランスしたと仮定して作成しています。また、通貨の入れ替えがあった場合、通貨入れ替えの生じた月の決算日より随時組入れ通貨を変更して作成しています。これらはあくまでも上記条件にて算出した結果であり、ファンドの実績を示唆または保証するものではありません。

■当資料は、運用環境の情報提供等を目的としてモルガン・スタンレー・アセット・マネジメント投信が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。■当資料は特定銘柄及び債券市場等全般の推奨や債券等の価格の上昇又は下落を示唆するものではありません。■過去の実績は必ずしも将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。■当資料の情報は、お客様に通知なしに、変更、削除等されることがあります。■弊社の事前の許可なく当資料を第三者へ交付することはご遠慮ください。■なお、記載内容は本書作成時点での見解であり、将来の市場環境の変化を保証するものではなく、このため、将来の投資成果等を保証するものではありません。■また、見解は将来予告なく変更する場合があります。将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

■当期の運用経過

以上を背景とし、当期および設定来の「モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信(毎月分配型)」の騰落率(分配金込み)はそれぞれ 0.58%、▲22.49%となりました。ポートフォリオの運用においては、マザーファンドへの投資を通じて、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な先進国と新興国の10通貨への配分が概ね均等となるように投資を行いました。ポートフォリオの平均最終利回りは、5.4%(2011年12月末現在)となりました。

【基準価額(分配金込み)の推移(設定日前日=10,000として指数化)】



直近6期の分配金(課税前)実績	
2011年8月15日	45円
2011年9月15日	45円
2011年10月17日	45円
2011年11月15日	35円
2011年12月15日	35円
2012年1月16日	35円
設定来累計	1,815円

- ・上記の指数化した基準価額推移は、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、収益率は異なります。
- ・基準価額の推移は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を指数化しております。
- ・運用実績は過去のものであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

■今後について

グローバル経済については、引き続き欧州債務問題の深刻化が投資家のマインドを悪化させ、リスク資産の下押し圧力となっている一方で、各国の政治的進展が依然として見られないため、景気や金融市場に対する先行き不透明感が増しております。そのため、ユーロ圏における景気後退の可能性は高まっているものの、米国においては足元で経済指標が一部改善しているように、2012年は緩和的な金融政策に下支えられて、潜在成長率を下回るものの緩やかなペースでの景気回復が期待されます。また、新興国や資源国等の一部先進国に関しては、公的債務水準が低く、ファンダメンタルズが良好であることから、コア先進国を上回る経済成長の継続が期待されます。さらに、コア先進国における低金利政策の長期化が予想される中、市場が落ち着いてきた場合には、緩和的な金融政策による流動性供給や相対的に高い利回りが、商品価格の上昇、新興国や資源国等の一部先進国への資本流入を再び促進すると思われます。当面は、先行き不透明感の高まりから投資家のリスク回避姿勢が強まる可能性に加えて、財政リスクや欧州銀行による資産圧縮に対する投資家の意識が高まる中、財政基盤の脆弱な国や特に欧州圏との経済的結びつきが強い国を中心に下落圧力が高まる可能性があるものの、インフレ圧力の低下を受けて、各国中央銀行が緩和的な金融政策にシフトしやすくなっていることも景気やリスク資産に対するサポート材料となります。

当ファンドでは引き続き、中長期的な観点から経済ファンダメンタルズの見通しの良好な国・通貨へ投資すべく、市場動向に注視しながら運用を行ってまいります。

今後とも、「モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信(毎月分配型)」をご愛顧の程よろしくお願ひ申し上げます。

■当資料は、運用環境の情報提供等を目的としてモルガン・スタンレー・アセット・マネジメント投信が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。■当資料は特定銘柄及び債券市場等全般の推奨や債券等の価格の上昇又は下落を示唆するものではありません。■過去の実績は必ずしも将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。■当資料の情報は、お客様に通知なしに、変更、削除等されることがあります。■弊社の事前の許可なく当資料を第三者へ交付することをご遠慮ください。■なお、記載内容は本書作成時点での見解であり、将来の市場環境の変化を保証するものではなく、このため、将来の投資成果等を保証するものではありません。■また、見解は将来予告なく変更する場合があります。将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信 (毎月分配型) / (年2回決算型)

■お申込みメモ■

設定日	2008年8月28日(木)
信託期間	2018年8月15日まで
決算日	【毎月分配型】原則として毎月15日(休業日の場合は翌営業日) 【年2回決算型】原則として毎年2月15日および8月15日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	分配対象額は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収益と売買益(評価益を含みます。)等の範囲内とします。 【毎月分配型】収益分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、配当等収益等を中心に安定した分配を行うことを基本とします。ただし、基準価額水準等を勘案し、前期の安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合もあります。 【年2回決算型】収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場環境等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。
申込日	原則として、販売会社の営業日に受付ます。ただし、ニューヨーク証券取引所あるいはニューヨークまたはロンドンの銀行の休業日に該当する日は、お申込みの受付は行いません。
購入単位	1万口以上1万口単位または1万円以上1円単位
購入価額	ご購入申込受付日の翌営業日の基準価額(ご購入代金は、原則としてご購入申込受付日から起算して6営業日目までに販売会社にお支払いいただきます。)
換金価額	ご購入申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた額とします。
換金代金の支払	原則としてご購入申込受付日から起算して6営業日目から販売会社にてお支払いいたします。
課税関係	原則として、収益分配時の普通分配金、換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。税法が改正された場合等にはその内容が変更になる場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
販売会社	野村證券株式会社 (金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号 加入協会:日本証券業協会/社団法人日本証券投資顧問業協会/社団法人金融先物取引業協会/一般社団法人第二種金融商品取引業協会)
受託会社	三菱UFJ信託銀行

■ファンドの費用■

◎直接ご負担いただく費用

購入時手数料 ご購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、お申込口数に応じて以下の率を乗じて得た額となります。

1億口未満……3.150%(税抜3.0%)

1億口以上……1.575%(税抜1.5%)

信託財産留保額 ご換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.15%の率を乗じて得た額となります。

◎間接的にご負担いただく費用

信託報酬 純資産総額に年0.9975%(税抜0.95%)の率を乗じて得た額となります。

その他の費用・手数料 信託事務の処理に要する諸費用、組入有価証券の売買委託手数料、監査報酬、法定書類関係費用(作成、印刷、交付等)を、投資信託財産より間接的にご負担いただきます。これらの費用は投資信託財産の規模、運用状況等によって変動しますので、あらかじめその金額、計算方法などを表示することができません。

直接および間接的にご負担いただく費用の合計額は、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手続・手数料等」をご覧ください。

ご購入のお申込にあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

■当資料は、運用環境の情報提供等を目的としてモルガン・スタンレー・アセット・マネジメント投信が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。■当資料は特定銘柄及び債券市場等全般の推奨や債券等の価格の上昇又は下落を示唆するものではありません。■過去の実績は必ずしも将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。■当資料の情報は、お客様に通知なしに、変更、削除等されることがあります。■弊社の事前の許可なく当資料を第三者へ交付することはご遠慮ください。■なお、記載内容は本書作成時点での見解であり、将来の市場環境の変化を保証するものではなく、このため、将来の投資成果等を保証するものではありません。■また、見解は将来予告なく変更する場合があります。将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信 (毎月分配型) / (年2回決算型)

■ファンドのリスク■

ファンドの主なリスクは以下の通りです。ただし、以下の記述はすべてのリスクを網羅したものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

◎金利変動リスク

金利は、景気や経済の情勢等の影響を受けて変動し、それに伴い債券価格も変動します。一般に金利が上昇した場合には、債券の価格は下落し、それに伴いファンドの基準価額も下落することがあります。また、債券の値動きの幅は、残存期間が長いほど大きくなる傾向があります。ファンドは金利変動リスクを伴う債券などの有価証券に投資するため、元本を割り込むことがあります。

◎信用リスク

発行国の債務返済能力等の変化、あるいは、発行企業が経営不振や資金繰りの悪化等に陥り、債券の利息や償還金があらかじめ定められた条件で支払われなくなる(債務不履行)場合、もしくはそうなると予想される場合には債券の価格が下落することがあります。また、ファンドが投資対象の一部とする新興国債券は、一般に先進国債券と比較して債務不履行の生じるおそれが高いと考えられ、債務不履行が生じた場合には債券価格が大きく下落します。ファンドは、信用リスクを伴う債券などの有価証券に投資するため、元本を割り込むことがあります。

◎為替変動リスク

為替相場は、国内外の経済要因や金利差により変動します。円安方向への為替変動は基準価額の上昇要因のひとつとなりますが、円高方向への為替変動は基準価額の下落要因のひとつとなります。ファンドは、為替変動リスクを伴う外貨建資産に投資するため、元本を割り込むことがあります。

◎カントリーリスク

一般に有価証券への投資は、その国の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制等の要因によって影響を受けます。そのため、投資対象有価証券の発行国の政治、経済、社会情勢等の変化により、金融・証券市場が混乱し、資産価格が大きく変動することがあります。特に、ファンドが投資対象の一部とする新興諸国の経済状況は先進諸国と比較して、一般に脆弱である可能性があります。経済成長率、インフレ、国際収支、外貨準備高等の経済状況の好転や悪化、政治不安や社会不安、外交関係、政府当局による海外からの投資規制や課徴的な税制、海外への送金規制など、種々の規制や政策の変更等により新興国債券への投資は著しく悪影響を被る可能性があります。また、ファンドでは、新興国債券への投資にあたっては、主に新興諸国の自国市場へ投資します(現地通貨建債等)。新興諸国の自国市場は、一般に先進諸国に比べて制度やインフラストラクチャーが未発達で市場規模が小さく、流動性も低く、変動も大きいと考えられ、決済の遅延・不能等が発生する可能性があります。ファンドは、こうしたカントリーリスクを伴う有価証券に投資するため、元本を割り込むことがあります。

◎その他

ファンドの収益分配は、委託会社の判断により行わない場合があります。資金動向、市況動向等によっては、運用の基本方針に従った運用ができない場合があります。また、投資目的が達成される保証はありません。

■当資料は、運用環境の情報提供等を目的としてモルガン・スタンレー・アセット・マネジメント投信が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。■当資料は特定銘柄及び債券市場等全般の推奨や債券等の価格の上昇又は下落を示唆するものではありません。■過去の実績は必ずしも将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。■当資料の情報は、お客様に通知なしに、変更、削除等されることがあります。■弊社の事前の許可なく当資料を第三者へ交付することをご遠慮ください。■なお、記載内容は本書作成時点での見解であり、将来の市況環境の変化を保証するものではなく、このため、将来の投資成果等を保証するものではありません。■また、見解は将来予告なく変更する場合があります。将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。